全ては健康を願う人々のために

共創未来

2027年3月期中間期決算説明会

2026年11月13日

東邦ホールディングス株式会社

© TOHO HOLDINGS CO.,LTD. All rights reserved

本日の内容

1. 2027年3月期中間期決算概況
2. 2027年3月期の業績見通し
3. 中長期経営戦略

© TOHO HOLDINGS CO.,LTD. All rights reserved

1. 2027年3月期中間期決算概況

© TOHO HOLDINGS CO.,LTD. All rights reserved

東邦HD 連結　2027年3月期中間期実績

- 2026年度からの3か年を期間とする、中期経営計画2026-2028「次代を翔ける」の各施策を実行

（単位：百万円）	2026年3月期中間期		2027年3月期中間期		
	実績	売上比(%)	実績	売上比(%)	対前同増減率(%)
売上高	767,899		808,544		5.29
売上総利益	59,848	7.79	59,219	7.32	△1.05
販売管理費	52,590	6.85	54,470	6.74	3.57
営業利益	7,258	0.95	4,748	0.59	△34.58
経常利益	8,329	1.08	6,553	0.81	△21.32
当期純利益※	6,244	0.81	4,177	0.52	△33.10

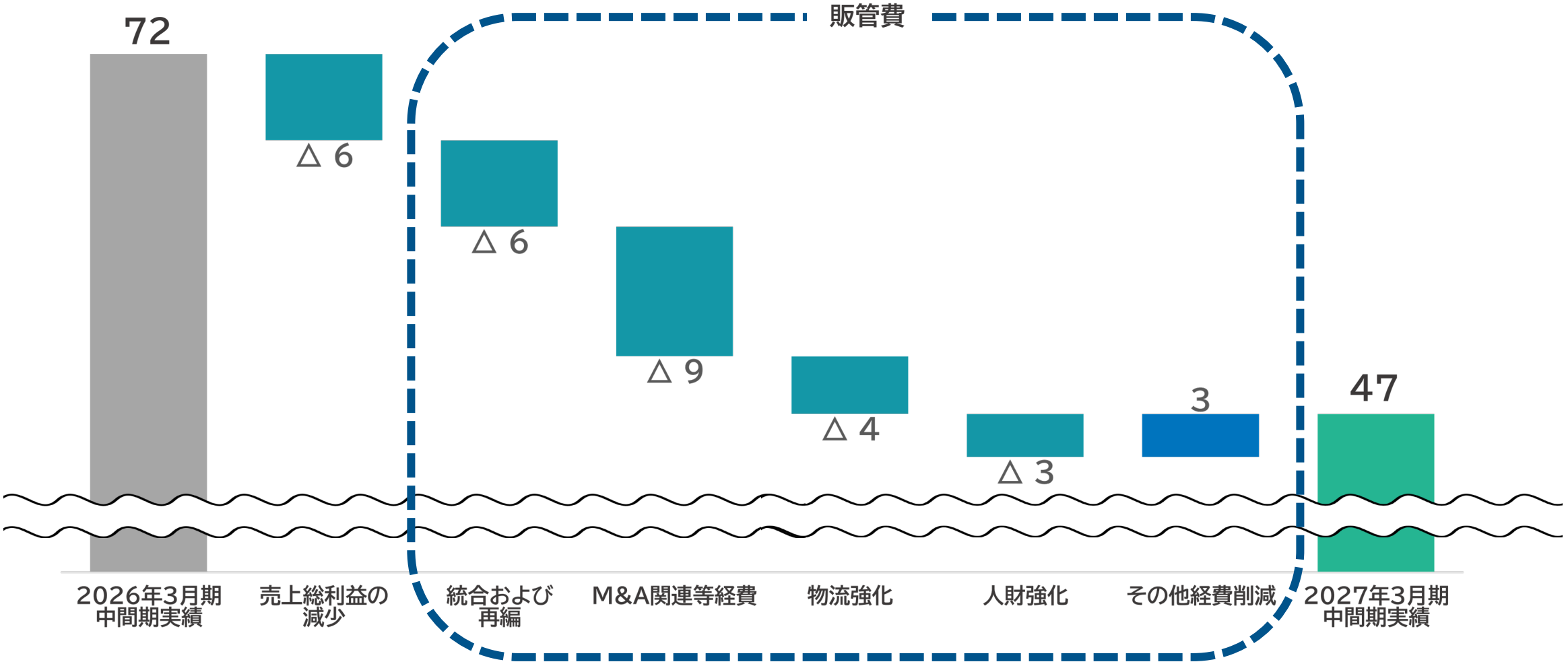
※親会社株主に帰属する当期純利益

© TOHO HOLDINGS CO.,LTD. All rights reserved

東邦HD 連結 2027年3月期中間期　営業利益増減要因

営業利益　2027年3月期中間期　**47億円**（対前期 △25億円）

（単位：億円）



© TOHO HOLDINGS CO.,LTD. All rights reserved

医薬品卸売事業　2027年3月期中間期実績

- 新型コロナウイルス関連製品の需要が大きく減少
- スペシャリティ医薬品をはじめとする取扱卸限定製品の売上が堅調に推移

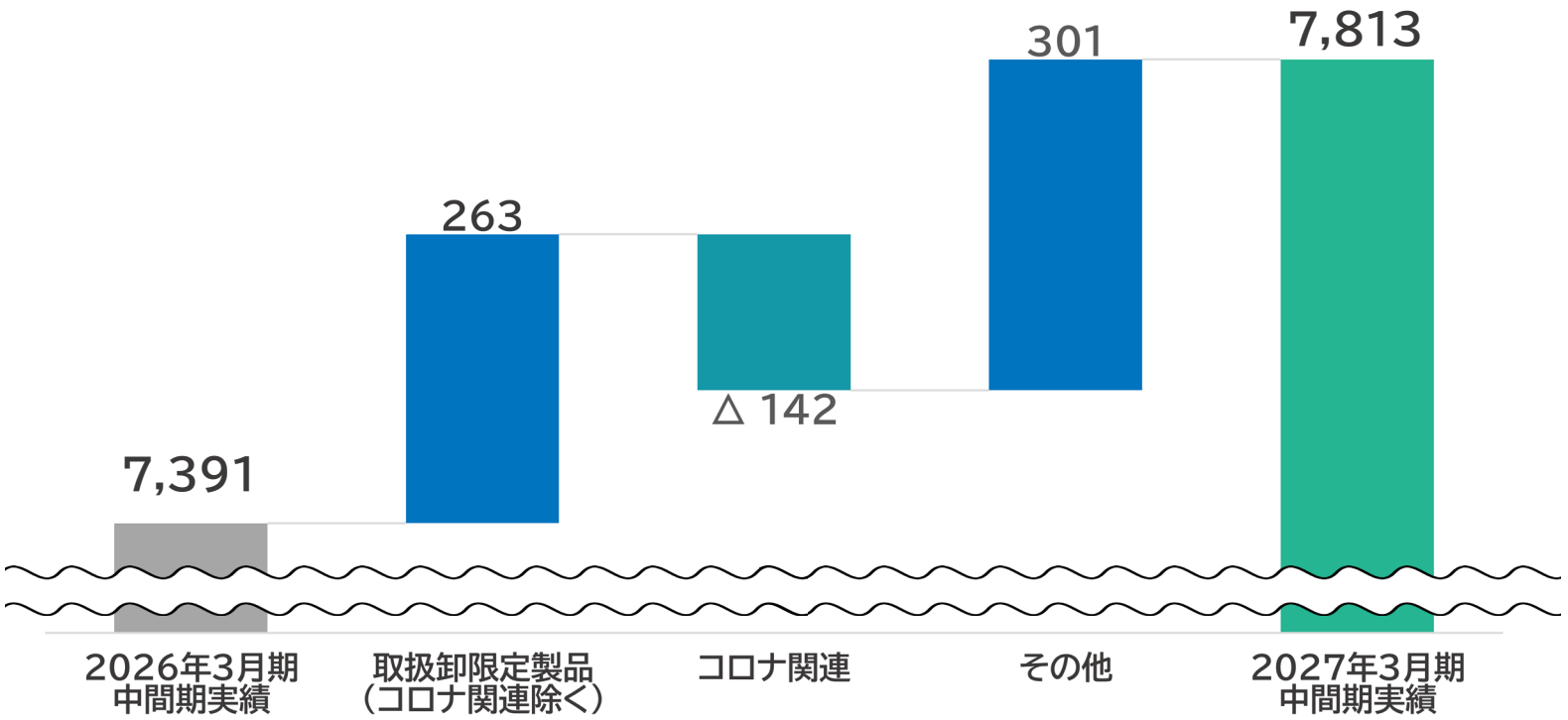
（単位：百万円）	2026年3月期中間期		2027年3月期中間期		
	実績	売上比(%)	実績	売上比(%)	対前同増減率(%)
売上高	739,165		781,345		5.71
売上総利益	40,512	5.48	40,473	5.18	△0.10
販売管理費	33,162	4.49	34,116	4.37	2.88
営業利益	7,349	0.99	6,357	0.81	△13.50

© TOHO HOLDINGS CO.,LTD. All rights reserved

医薬品卸売事業 2027年3月期中間期　売上高増減要因

医薬品卸売事業売上高　2027年3月期中間期 **7,813億円**（対前期 +422億円）

（単位：億円）



増加要因（+564億円）
- スペシャリティ医薬品をはじめとする取扱卸限定製品が引き続き牽引
- がん治療薬や糖尿病治療薬などが伸長

減少要因（△142億円）
- 新型コロナ治療薬が前年同期と比較し想定以上に減少

© TOHO HOLDINGS CO.,LTD. All rights reserved

調剤薬局事業　2027年3月期中間期実績

- 調剤薬局事業子会社の新規連結化により売上が伸長
- 長期処方の増加に伴う処方箋受付回数の減少により利益が悪化

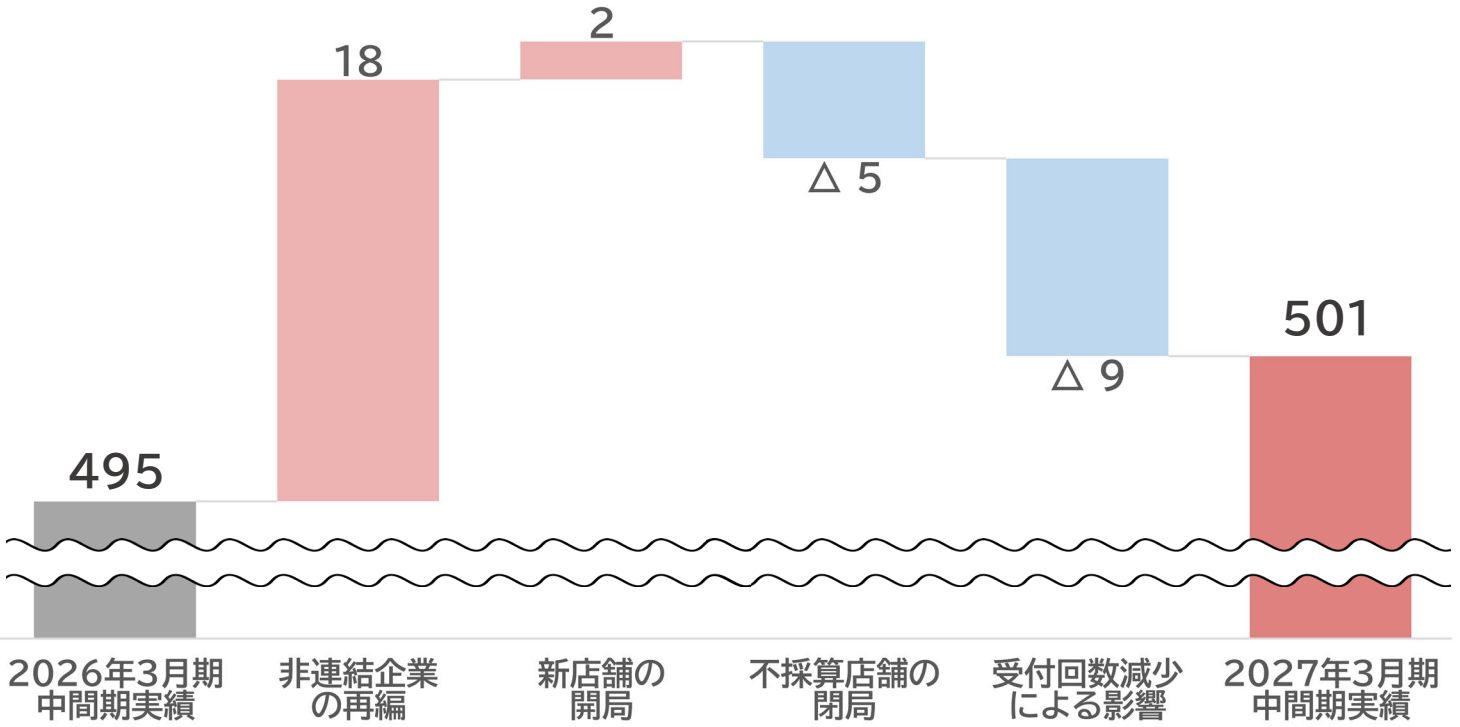
（単位：百万円）	2026年3月期中間期		2027年3月期中間期		
	実績	売上比(%)	実績	売上比(%)	対前同増減率(%)
売上高	49,542		50,155		1.24
売上総利益	17,426	35.17	17,226	34.35	△1.15
販売管理費	16,826	33.96	17,059	34.01	1.38
営業利益	600	1.21	166	0.33	△72.33

© TOHO HOLDINGS CO.,LTD. All rights reserved

調剤薬局事業 2027年3月期中間期　売上高増減要因

調剤薬局事業売上高　2027年3月期中間期　501億円（対前期 ＋6億円）

（単位：億円）



増加要因（+20億円）

- **+18億円　非連結企業の再編（3社）**
  非連結企業3社の再編影響により、 1,844百万円の積み上げ
- ほか、新規出店　5店舗＋167百万円

減少要因（△14億円）

- **△5億円　閉局 15店舗**
  不採算店舗の閉局 △511百万円
- **△9億円　既存店の受付回数減少**
  既存店受付回数 前年比95.7%
  前年差△201千回
  処方の長期化、ドラッグストア等の競合激化に伴い受付回数が減少している。

© TOHO HOLDINGS CO.,LTD. All rights reserved

2. 2027年3月期の業績見通し

© TOHO HOLDINGS CO.,LTD. All rights reserved

東邦HD 連結　2027年3月期業績見通し

単位(百万円)	2026年3月期		2027年3月期計画			2027年3月期中間期	
	実績	売上比(%)	計画 金額	計画 売上比(%)	対前期増減率(%)	実績	通期計画に対する進捗率(%)
売上高	1,553,364		1,601,000		3.07	808,544	50.50
売上総利益	122,416	7.88	123,800	7.73	1.13	59,219	47.83
販売管理費	105,815	6.81	109,000	6.81	3.01	54,470	49.97
営業利益	16,601	1.07	14,800	0.92	△10.85	4,748	32.08
経常利益	16,631	1.07	16,600	1.04	△0.19	6,553	39.48
当期純利益※	17,327	1.12	12,900	0.81	△25.55	4,177	32.38

※親会社株主に帰属する当期純利益

© TOHO HOLDINGS CO.,LTD. All rights reserved

医薬品卸売事業　2027年3月期業績見通し

単位(百万円)	2026年3月期		2027年3月期計画			2027年3月期中間期	
	実績	売上比(%)	計画		対前期増減率(%)	実績	通期計画に対する進捗率(%)
			金額	売上比(%)			
売上高	1,494,868		1,539,000		2.95	781,345	50.77
売上総利益	83,386	5.58	83,200	5.41	△0.22	40,473	48.65
販売管理費	66,566	4.45	68,400	4.44	2.76	34,116	49.88
営業利益	16,820	1.13	14,800	0.96	△12.01	6,357	42.95

© TOHO HOLDINGS CO.,LTD. All rights reserved

調剤薬局事業　2027年3月期業績見通し

単位(百万円)	2026年3月期		2027年3月期計画			2027年3月期中間期	
	実績	売上比(%)	計画 金額	計画 売上比(%)	対前期増減率(%)	実績	通期計画に対する進捗率(%)
売上高	100,538		105,000		4.44	50,155	47.77
売上総利益	35,196	35.01	36,800	35.05	4.56	17,226	46.81
販売管理費	33,798	33.62	34,700	33.05	2.67	17,059	49.16
営業利益	1,397	1.39	2,100	2.00	50.32	166	7.90

© TOHO HOLDINGS CO.,LTD. All rights reserved

3. 中長期経営戦略

1. 中期経営計画2026-2028「次代を翔ける」全体像
2. 成長戦略
- 医薬品卸売事業
- 調剤薬局事業
- 新規事業
3. 効率化戦略
4. 経営基盤の強化
- 人的資本経営
- ガバナンス
5. 資本政策

© TOHO HOLDINGS CO.,LTD. All rights reserved

中期経営計画2026-2028「次代を翔ける」全体像

共創未来

ROE	8%以上	営業利益率	1.5%以上	営業利益	300億円以上	成長投資	500億円以上

成長戦略

医薬品卸売事業

医薬品卸売

- スペシャリティ医薬品の獲得品目数の拡大
- DX推進（BIxAIの活用）による営業配送体制の強化と生産性向上
- 顧客支援システムの開発機能の強化

新規事業

新規事業

- 医療用医薬品、医療機器/材料、検査薬、OTC、医療IT、物流等事業会社との積極的なアライアンスやM&Aによる新規事業（CDMO含む）の創出
- 医療DX事業の早期拡大

医薬品製造販売事業

製販

- 新たなモダリティに対応したCDMO事業の拡大

調剤薬局事業

調剤

- ガバナンスの強化
- DX推進による効率化と収益性の改善

効率化戦略

コスト構造改革 不採算部門の整理、営業・物流/配送の生産性の向上、間接材コスト削減、業務プロセス改革

経営基盤の強化

- ガバナンスの高度化
- 環境への貢献
- DXの推進
- 人的資本経営（制度・風土改革、DE&I、健康経営）

資本政策

- 総還元性向100%以上
- DOE4%以上
- 安定的な増配と機動的な自己株式取得（株主還元　500億円以上）

© TOHO HOLDINGS CO.,LTD. All rights reserved

営業機能の強化

成長を牽引する製品の獲得・営業注力とポートフォリオの見直し

スペシャリティ医薬品の売上拡大

スペシャリティ医薬品の獲得に向けた新たなソリューションの提供

- 製品モダリティに応じたフルラインサービスの充実による付加価値の提供
- 開発パイプラインを持つメーカーへのアプローチ拡大
- インフラやMR等を有しないメーカーに対する物流・販売支援

収益向上に寄与するポートフォリオの適正化

BI機能の活用による精緻な利益分析基盤を確立し、品目・得意先別の採算性可視化

メーカー：スペシャリティ領域、地域ごとのポテンシャルの可視化を通じた成長ドライバーへの注力と、採算を重視したポートフォリオの見直し

得意先：安定供給責任を堅持しつつ、取引条件の適正化と見直しを丁寧に推進

高マージン領域の拡大

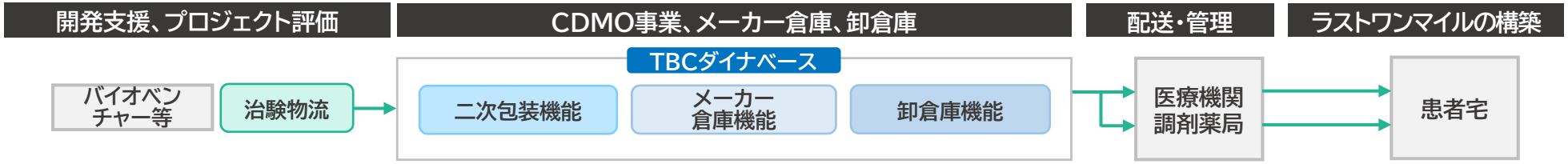
高成長品や、医療機器・医療材料・PB品等の高利益品へリソースを配分

利益重視姿勢のもと、選択と集中を進め中期経営計画「売上総利益＋50億円」の確実な達成へ

© TOHO HOLDINGS CO.,LTD. All rights reserved

スペシャリティフルラインサービス

バイオ医薬品等への対応を強化すべく、スペシャリティフルラインサービスの機能強化を推進



■ バイオベンチャー企業への出資

- イシンファーマ：遺伝性慢性皮膚疾患表皮水疱症の治療を目的とした再生医療等製品「アロステム®シート」
- リプロセル：日本国内で製造販売承認申請中の幹細胞製品「Stemchymal®」
- AdipoSeeds：血小板による再生医療等製品の開発

■ CDMO事業

- 羽田パッケージングセンターにて3製品を受託
  →今年度内に数製品の受託を予定

■ 治験物流・メーカー物流

- DHLサプライチェーンジャパン：日本における先進的なヘルスケアロジスティクス・プラットフォームの構築を目指した協業

■ ラストワンマイルの構築

- 患者宅配送サービス「L1MON（リムオン）」

スペシャリティ医薬品における“選ばれるパートナー”へ

© TOHO HOLDINGS CO.,LTD. All rights reserved

物流ネットワークの強靭化と配送効率化を両立させる新たな物流拠点を構築

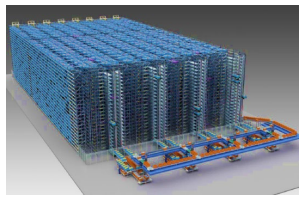
共創未来

TBC東海

2027年度 稼働予定

前例のない高機能・高効率センターを実現

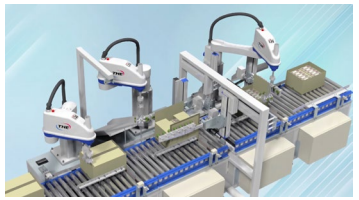
各種自動倉庫やAGV（自動搬送車）、元梱自動開梱機等の最新マテハン設備を結集し、省人化と高出荷精度を確立



高機能・高密度保管の自動倉庫



縦横無尽に搬送するAGV



元梱の開梱作業を自動化

大阪総合物流センター（構想）

2028年度 稼働予定

卸倉庫併設型メーカー倉庫の「東邦モデル」

輸送ゼロによるローコストオペレーションと高品質物流を実現

「治験から商用まで」一気通貫のワンストップサービスを提供

開発段階（治験薬）から製品流通（商用医薬品）までを切れ目なく網羅する総合物流体制を構築

「国際物流」と「国内物流」のシームレスな統合

DHL × TOHO HOLDINGS CO.,LTD.

国際物流から国内のメーカー物流、卸物流、医療機関、患者宅までのワンストップサービスを構築中
（※国際輸送連携についてはすでに実施中）

人手不足の時代にも医薬品の安定供給を継続するための効率化サイクルを構築

完全得意先別パッキング出荷

センターですべての納品先ごとに荷物を集約し、中継拠点における物流作業を削減

NO検品運用の原則化

出荷精度99.99999%の物流品質をそのまま検品レスでお得意先へ納品

© TOHO HOLDINGS CO.,LTD. All rights reserved

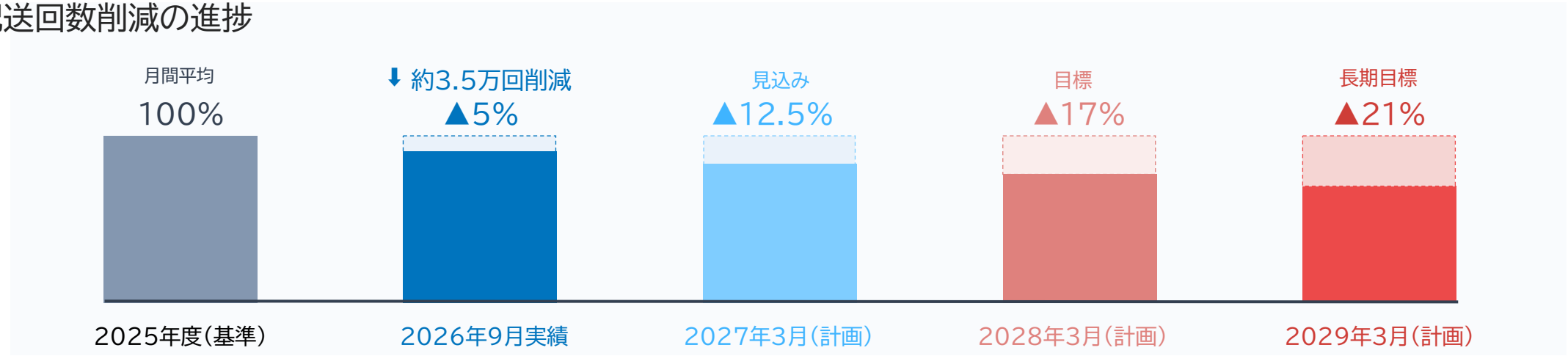
営業と配送の質的強化

計画配送の推進により、配送回数削減と現場負荷軽減を着実に実現

DX推進（BI×AIの活用）による営業配送体制の強化と生産性向上

計画配送システムの導入　▶配送業務における負担軽減　▶安定供給体制の強化

◆配送回数削減の進捗



◆配送回数削減までのロードマップ

- 計画配送の拡大
- 配送条件の見直し

▶

- 計画配送・配送回数の集約
- 対象顧客の拡大

▶

- 全社における配送回数集約の徹底
- 運用の標準化

▶

- 配送回数の集約体制のさらなる推進および定着

© TOHO HOLDINGS CO.,LTD. All rights reserved

顧客支援ビジネス

既存顧客支援システムの機能強化および外部との協業による収益の拡大を目指す

■ 既存システムの機能強化

- **薬局本部システム「ミザル」** 年内リリース予定
  リニューアルおよびAI機能の追加

主な特徴

・長期処方患者の需要予測発注
・他法人との連動機能

薬局の業務効率化/地域医療への貢献

■ 外部との協業

- **株式会社ソラミチシステム**
  クラウド型の電子薬歴システム

主な特徴

・AI音声入力・会話解析
・服薬フォロー・Web問診

薬剤師の対人業務・在宅医療への集中に貢献

顧客支援システムの業績（売上総利益）

2027年3月期中間期：17.8億円
（今期計画：41億円）

© TOHO HOLDINGS CO.,LTD. All rights reserved

調剤薬局事業 ～本部・エリア・最前線スタッフを繋ぐ双方向ガバナンスの確立と、次世代薬局インフラへの移行～

共創未来

中計目標

ガバナンスの強化とDX推進による経営の効率化の推進と、対人サービス向上とデータ活用により、患者さまや地域住民に選ばれる新たな薬局モデルを確立する

店舗機能の強化　新たな店舗形態の拡張　薬剤師の生産性向上　CDPの整備

【組織改革】

従業員エンゲージメントを高めるブロック細分化ガバナンス

1. エリアブロックの細分化
  ・1エリアあたりの担当店舗数の適正化
  ・エリアマネージャーと店舗スタッフ全員の定期的な対話
  ・エンゲージメントの向上と定着率の向上

2. 現場直結型コミュニケーション＆迅速なフィードバック
  ・「店舗」「本部」の直行チャネルを確立
  ・現場のリアルな声に対して、本部から迅速なフィードバックを実施

【重点施策】

強固なガバナンス基盤下で推進するアクション

1.地域支援・医薬品供給対応体制加算の取得率向上
  目標：45%

2.在宅患者訪問薬剤管理指導の拡充

3.調剤外部委託の準備
  （2027年5月20日改正薬機法施行）

4.かかりつけ機能向上を目指したCDP構築

© TOHO HOLDINGS CO.,LTD. All rights reserved

出資・アライアンス

	企業名	アライアンスの内容
4月	Metaphore Biotechnologies Inc.	AI技術を活用した米国の次世代抗体創薬企業。CVCファンド「TOHO Ventures」による出資先第1号。
5月	協和医科器械株式会社	東海地域における医薬品及び医療材料の SPD 機能の強化と、医療機関のソリューションの開発を目的とした共同研究に関する基本合意書を締結。
6月	DHLサプライチェーンジャパン株式会社	日本における包括的な物流ソリューションの提供に向けた協業についての基本合意契約書を締結。
6月	リジェネフロ株式会社	iPS細胞による腎再生医療・創薬の研究開発を行うバイオベンチャー企業であり、その研究開発を支援するため出資。
7月	イシンファーマ株式会社	子会社化。
9月	株式会社リプロセル	幹細胞製品「Stemchymal®」の国内流通に関する基本合意書締結。
10月	株式会社AdipoSeeds	血小板による再生医療等製品の開発などを行う慶應義塾大学医学部発ベンチャー企業。研究・開発支援のため出資。

© TOHO HOLDINGS CO.,LTD. All rights reserved

イシンファーマの子会社化

2008年9月に創業したバイオベンチャーであり、指定難病の遺伝性慢性皮膚疾患である表皮水疱症の治療を目的とした再生医療等製品「アロステム®シート」を開発



アロステム®シート

「栄養障害型、接合部型及び単純型（重症汎発型に限る）表皮水疱症※」を効能、効果とする、世界初のヒト（同種）脂肪組織由来間葉系幹細胞の再生医療等製品。

※：難治性又は再発性のびらん・潰瘍を有する栄養障害型、接合部型及び単純型（重症汎発型に限る）表皮水疱症の患者を適応対象とする。本品は、難治性又は再発性のびらん・潰瘍部に適用し、再上皮化を促すことを目的とする。

共創未来ファーマが出荷判定を、東邦薬品およびその医薬品卸子会社が厳格な温度管理を伴う流通プロセスを担い、当社グループによるフルラインサービスを確立

➡今期中に約20施設で採用見込み

© TOHO HOLDINGS CO.,LTD. All rights reserved

CVCファンド「TOHO Ventures」

グローバル・ブレイン社のネットワークを活用し、国内外の先進的な投資案件から厳選して投資を実行

TOHO Venturesの概要

運用総額	100億円
運用期間	10年間
無限責任組合（GP）	グローバル・ブレイン株式会社
有限責任組合（LP）	東邦ホールディングス株式会社

■実績

2025年11月のファンド設立以降、
1,200件超をソーシング、14件を本格検討

投資決定先：5件

ポートフォリオ（創薬：4件、医療DX：1件）

METAPHORE

2026年3月出資完了

・投資第一号案件
・米国Flagship Pioneering 創設
AIを活用した最先端の機能性抗体創薬プラットフォーム（MIMIC）を開発。

SWITCH THERAPEUTICS

2026年7月出資完了

特定の細胞でのみ薬効を発揮する次世代のRNA技術を活用し、治療が難しい中枢神経系の疾患に対する革新的なRNA医薬品を開発。

oyster（旧Kesmalea Therapeutics）

2026年10月出資完了

血液脳関門（BBB）の通過を可能にする独自技術（SELFTAC）を用いた、アルツハイマー病などの神経変性疾患を標的とするタンパク質分解薬を開発。

WALDEN BIOSCIENCES

2026年10月出資完了

慢性腎臓病の病因に直接アプローチする疾患修飾薬を開発。

Boston Medical Sciences

2026年10月出資完了

・医療DX案件
無下剤の大腸CT解析AIプログラム機器を開発。大腸がん早期発見への貢献と米国展開推進中。

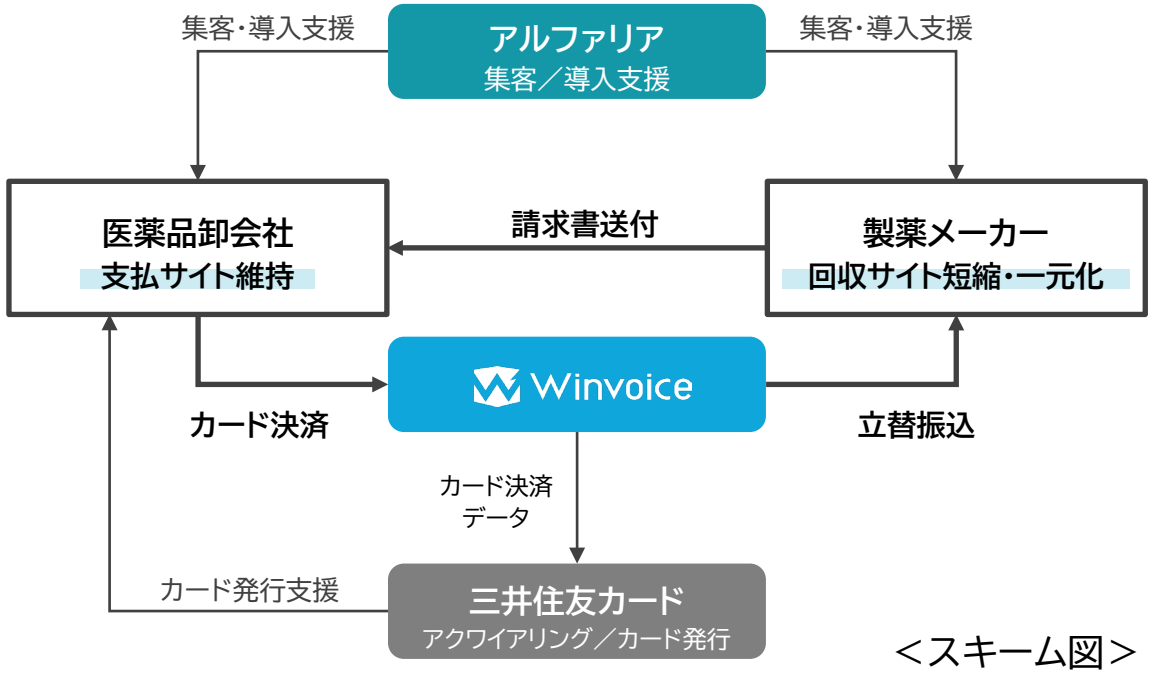
© TOHO HOLDINGS CO.,LTD. All rights reserved

ファーマトレードペイ（仮称）

業界特有の商慣行に起因する課題を解決
～売掛金回収サイトの短縮～

医薬品業界向けBtoB決済サービス

ファーマトレードペイ



＜スキーム図＞

【サービスの特徴】

（1）製薬メーカーへの効果
医薬品卸会社ごとに異なっていた回収サイトを「最短30日」へと短縮・一元化。
これにより、キャッシュフローの予測可能性と健全性が向上し、新薬開発等に対する効率的な資金調達が可能。

（2）医薬品卸への効果
クレジットカード決済を活用することで、従来の支払サイトや振込タイミング（現行サイト）を原則として維持したまま、スムーズに本サービスへ移行することが可能。

※「ファーマトレードペイ」は仮称（商標登録出願中のため、正式名称は変更になる可能性があります）

© TOHO HOLDINGS CO.,LTD. All rights reserved

効率化戦略の進捗

重点施策の推進

① 業務プロセス改革 × DX

自然減対応: 将来的な労働人口の減少を見据え、DX・AIを駆使した業務継続可能な体制を構築

合理化推進: 重複・不要業務の廃止とデジタル化による人件費抑制

② 間接材コストの聖域なき見直し

集中管理:本部一括購買への移行、ベンダーの集約・再選定

電子化: 請求処理等のペーパーレス化

当期の損益インパクトは限定的
来期以降の本格寄与を想定

上期の一時費用と見通し

施策推進に伴う初期投資が先行

主な一時的発生費用

- 効率化・人事制度改革向けコンサル費用
- コーポレート・採用サイト刷新費用
- PHC関連DD・アドバイザリー費用
- 将来の効率化を見越したDX導入

一時費用の発生を含めても、販管費全体は計画を下回って推移

残存課題と来期以降の展望

足元の課題

人手不足や物価高騰に起因する修繕費、配送業務委託費、人件費等の増加

社内横断で改善に向けた検討・アプローチを実行中

来期以降、課題領域の改善と先行投資の成果が発現し、本格的なコスト抑制効果へ

将来の販管費増を見据えた先行投資を消化しつつ、構造改革により恒久的なコスト抑制を実現

© TOHO HOLDINGS CO.,LTD. All rights reserved

人的資本経営 「挑戦を恐れない個が、未来を創る　～自律型人財への転換と、価値創造組織への進化～」

共創未来

中期経営計画2026-2028「次代を翔ける」達成に向けた人事戦略

新人事制度導入

自律的な成長・キャリア形成に繋がる人事制度改革
管理職の役割等級制を導入し実力主義へ転換。今後は一般社員や非正規社員へも順次展開。

人事基幹システム刷新

人事基幹システムの刷新
業務効率化と統制強化を進め、タレントマネジメントシステム（カオナビ）の導入により人財ポートフォリオ構築に着手。

サクセッションプランの稼働

サクセッションプラン・マネジメント
委員会や経営幹部・各社社長の対話を通じ、グループ主要トップの後継者計画を重点推進。

新教育フレームの構築

管理職のマネジメント力強化
役員勉強会の継続に加え、次世代幹部の選抜育成や中核層向け合同研修を実施。

エンゲージメント向上活動・DE&I

エンゲージメントサーベイ/タウンホールミーティング
調査結果に応じた現場改善とトップ対話を進め、自律的な組織風土の醸成を強化。

© TOHO HOLDINGS CO.,LTD. All rights reserved

ガバナンス：情報セキュリティの強化

■ 最新のサイバーセキュリティ対策ツールを導入
～侵入前防御と侵入後の即時対処を1つで完結～

世界標準の信頼性	運用の完全代行	圧倒的なスピード
		
数万社以上の導入	24時間365日体制	1時間以内に修復

■ サプライチェーン強化に向けたセキュリティ対策評価制度（SCS評価制度）への対応

【制度概要】	【当社における取り組み】	【目指す姿】
サプライチェーンを構成する企業のセキュリティ対策状況を共通の基準で客観的に評価・可視化する、経済産業省主導の制度。2027年3月に開始。	外部専門機関のアセスメントを通じて、要求基準と現状のギャップ分析に着手。	基準を早期にクリアすることで、医療インフラとしての事業継続性（BCP）を高め、取引先からの信頼を強化

© TOHO HOLDINGS CO.,LTD. All rights reserved

ガバナンスの高度化

■ CGO主導による高度なガバナンス体制の構築

・取締役会のさらなる実効性向上：第三者評価による実効性評価の実施、評価結果に基づく取り組みの確認・実行

・グループガバナンスの向上

■ 社外取締役の選任

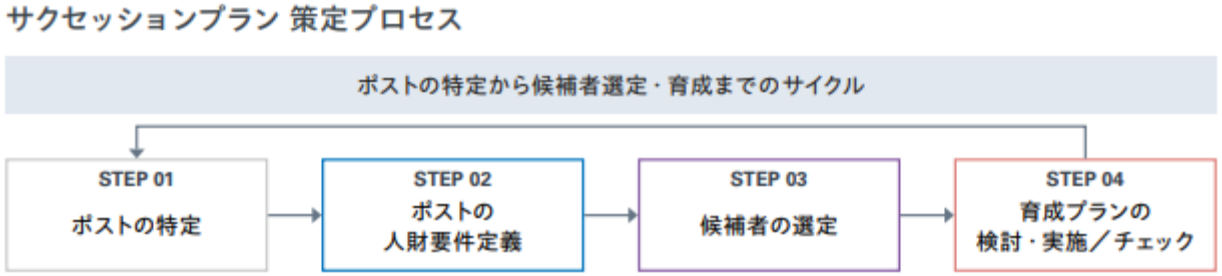
取締役会の実効性向上に資する幅広い専門性と経験を兼ね備え、かつ独立性基準を有する社外取締役を選任

■ サクセッションプランの策定・運用

目的：中長期的な企業価値向上の実現

対象：次世代経営トップおよび幹部候補者

ガバナンス・監督体制：指名報酬委員会



■ 監査機能のさらなる高度化

「グループ監査室」を「グループ監査部」に改組

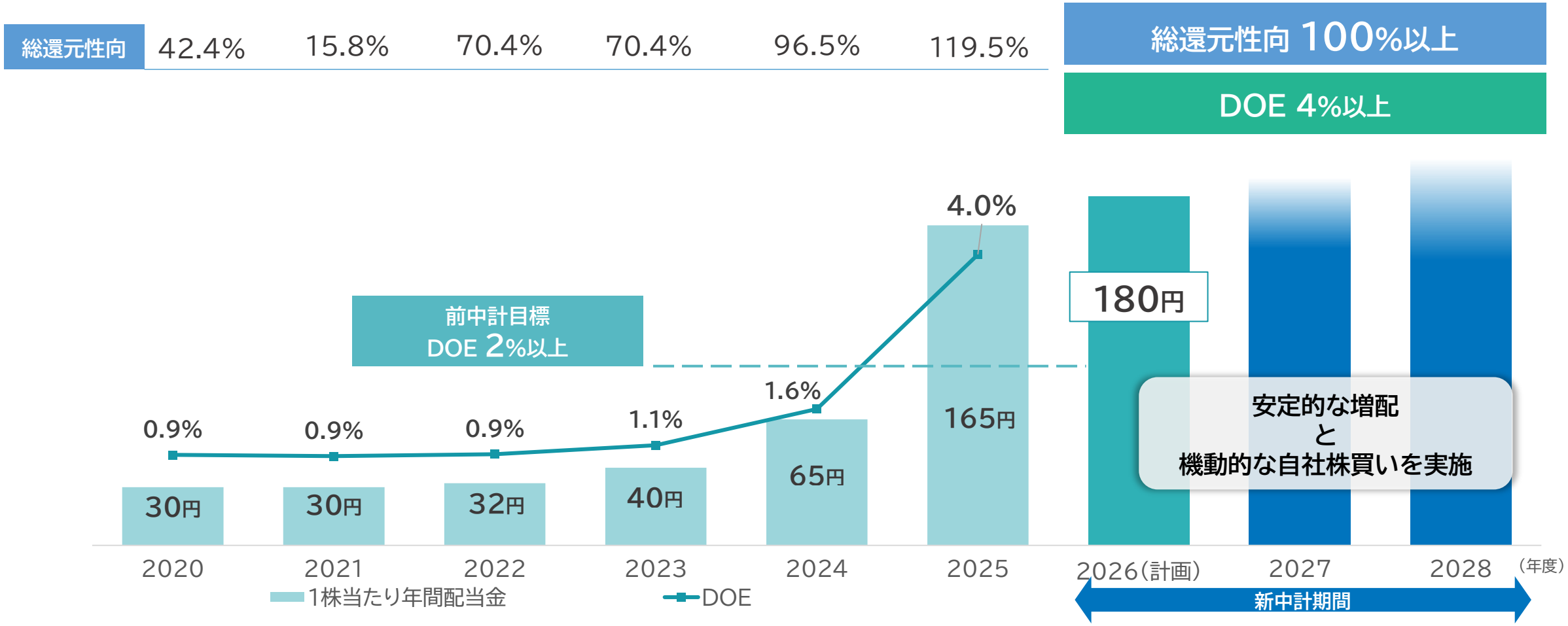
■ 内部通報制度

より独立性の高い外部窓口の設置や通報者保護を徹底した実効性の高い内部通報制度の運用

© TOHO HOLDINGS CO.,LTD. All rights reserved

株主還元方針

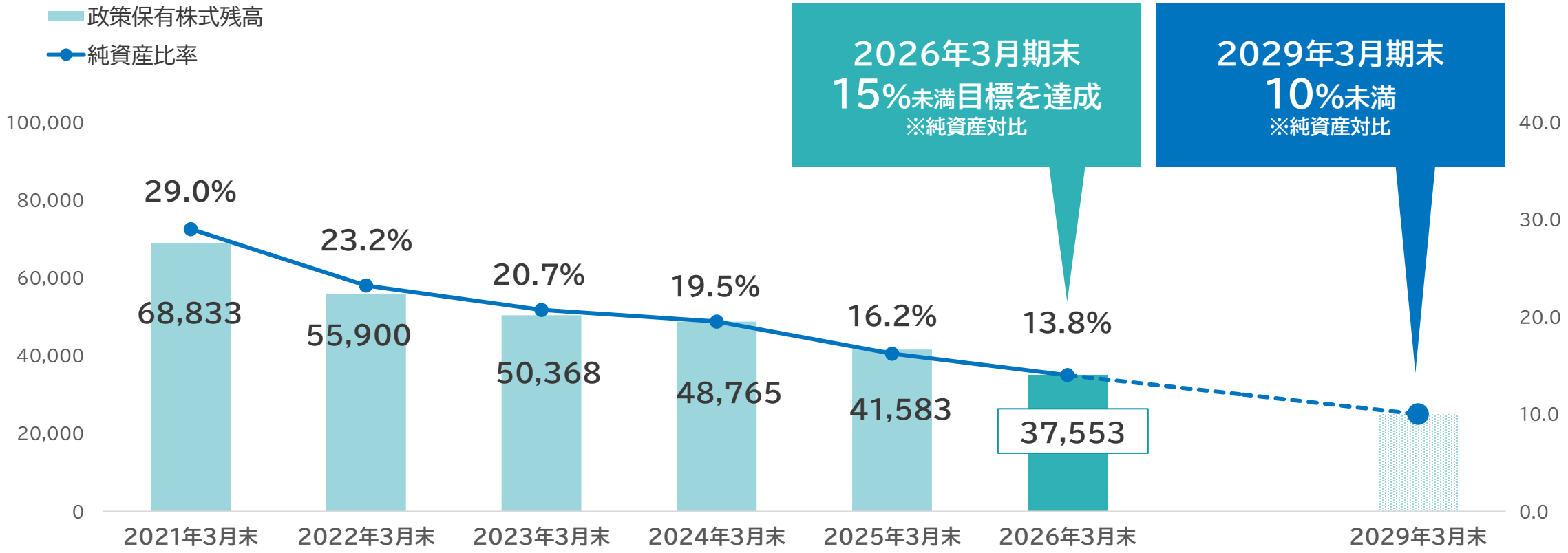
- 総還元性向100%以上
- 本中計期間中500億円以上の株主還元を実施
- 本中計期間中DOEを4%以上という方針の下、安定的な増配および機動的な自己株式取得を実施



© TOHO HOLDINGS CO.,LTD. All rights reserved

政策保有株式

資本効率の向上とコーポレート・ガバナンスの強化を目的として、政策保有株式を着実に縮減。



※上記金額には非上場株式を含みます
※みなし保有株式に該当する株式を保有していません

© TOHO HOLDINGS CO.,LTD. All rights reserved

参考資料

© TOHO HOLDINGS CO.,LTD. All rights reserved

連結BS

単位(百万円)

	2026年3月期		2027年3月期中間期			主な増減要因	
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)	増減額		
流動資産	571,044	77.09	615,659	78.30	44,615	受取手形及び売掛金 商品及び製品 現金及び預金	22,313増加 11,452増加 8,065増加
固定資産	169,737	22.91	170,580	21.70	843	建物及び構築物	663増加
資産合計	740,781	100.00	786,239	100.00	45,458		
流動負債	441,920	59.66	492,106	62.59	50,186	支払手形及び買掛金	54,207増加
固定負債	27,300	3.68	24,627	3.13	△2,673	社債	1,753減少
負債合計	469,221	63.34	516,733	65.72	47,512		
純資産	271,560	36.66	269,506	34.28	△2,054	利益剰余金 自己株式	4,104減少 2,142減少(+)
負債純資産合計	740,781	100.00	786,239	100.00	45,458		

© TOHO HOLDINGS CO.,LTD. All rights reserved

キャッシュフロー

単位(百万円)

	2026年3月期中間期	2027年3月期中間期	2027年3月期中間期の主な増減要因	
現金(同等物)の期首残高	78,226	83,286		
営業活動	25,616	20,980	税引前利益 減価償却費 仕入債務の増加 売上債権の増加 棚卸資産の増加 その他の資産の増加 法人税等の支払額	6,281 2,923 53,521 △21,807 △11,343 △2,210 △5,885
投資活動	△2,999	△2,498	有価証券の償還 関係会社株式の売却 有価証券の取得 有形固定資産の取得 関係会社株式の取得	6,000 3,600 △4,000 △3,222 △3,806
財務活動	△12,582	△8,432	配当金の支払額	△7,765
現金(同等物)の期末残高	89,543	93,357	当期増減額	10,071

© TOHO HOLDINGS CO.,LTD. All rights reserved

医薬品卸売事業　カテゴリー別売上構成比および妥結率

【カテゴリー別売上構成比】

	2025年4月-2025年9月	2026年4月-2026年9月
革新的新薬	42.4%	47.0%
特許品・その他	39.0%	38.6%
長期収載品	9.8%	5.3%
GE品	8.8%	9.1%

【妥結率】

	2022年9月末	2023年3月末	2023年9月末	2024年3月末	2024年9月末	2025年3月末	2025年9月末	2026年3月末	2026年9月末
金額ベース	95.4%	98.6%	95.2%	99.5%	95.1 %	99.4%	94.9%	99.3%	93.3%

© TOHO HOLDINGS CO.,LTD. All rights reserved

共創未来

全ては健康を願う人々のために

東邦ホールディングス株式会社

【IR担当窓口】経営戦略本部
E-mail: info@so.tohoyk.co.jp
https://www.tohohd.co.jp

【注記】
本資料に掲載されている東邦ホールディングス株式会社の現在の計画、見通し、戦略、想定等のうち、過去の事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、リスクや不確実な要因を含んでおります。
これらの情報は、現在入手可能な情報から東邦ホールディングス株式会社の経営陣の判断に基づいて作成されております。
実際の業績は、さまざまな重要な要素により、業績見通しとは大きく異なる結果となりうるため、業績見通しのみに全面的に依拠することは控えるようお願い致します。
本資料は、投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、利用者ご自身のご判断において行われるようお願い申し上げます。また、資料に含まれる医薬品に関する情報は宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。

© TOHO HOLDINGS CO.,LTD. All rights reserved